

「文明は宇宙から」

(第四十回)

「宇宙は芸術だ！」をテーマにArt&Space宇宙芸術展が横浜で開催された。NASAと Smithsonian博物館の協力により、アポロ計画やスペースシャトル計画など目を見張る展示の数々だ。

ちようど1977年8月20日に打ち上げられたのがボイジャー2号。今までに木星・土星・天王星・海王星を探索し、木星の輪などを発見。今もなお、太陽系を離れ銀河への旅を続けているという。

私がこのたび驚いたのは、古代アメリカ大陸で紀元前2000年前から栄えていたマヤ文明。天文学の優れた知識で正確な暦を使っていた。1年は365日だが、実際には少し長い。コンピュータを駆使した現代の測定で1年は365.24220日となる。だから4

健康のススメ 板東 浩

毎年(うゑんごとし)に閏年を設け、100年毎に微調整をしている。当時、マヤ人は何と365.24220日と算出。なぜこれほど精密に計算できたのか、全く不思議に思う。

さらに、マヤの建築技術を象徴する神殿がある。ピラミッド構造で9層の基壇(きだん)を持ち、四方の階段の数をあわせると365段。

春分と秋分の日、太陽が西に傾くと階段の陰の形が延びて、へビが天空から降り臨(りん)したように見える現象が有名だ。やはり、宇宙人が時空を超えて地球に舞い降りていたのかもしれない。

大宇宙からやってくる電波や電磁波を、私たちは常に浴びている。

ヒトの身体自体もまだまだミステリーな小宇宙だ。2003年8月27日は、火星が地球に一番近づく日。火星をゆっくり眺めながら、宇宙を感じてみませんか？
(医学博士・内科医師)